

「道徳的諸価値についての理解」

を重点とした道徳科の授業づくり

第2学年 道徳科学習指導案

1 主題名「困難を乗り越えるために大切なこと」

(内容項目：A-4 希望と勇気、克己と強い意志)

2 教材名「北海道畜産業の父 エドウィン・ダン」

(出典「北海道版道徳教材 きた ものがたり」北海道教育委員会)

3 主題設定の理由

思春期は周囲の人の影響や様々な経験を通して、一人の大人としての自己を確立していく時期である。特に中学生は勇気や希望を乗り越える生き方に憧れをもつ世代であるが、同時に上手くいかない現実直面してすぐ諦めてしまったり、挫折や失敗を恥ととらえて隠そうとしたりするなど困難から逃げ安易な選択をしてしまう生徒も見られる。

中学二年生も後半に差し掛かっている今だからこそ、改めて苦手なことに立ち向かったり、目標に向けてひたむきに努力していこうとしたりすることの大切さに気付かせたい。

本クラスは穏やかな生徒が多く、人の話に耳を傾けたり、相手に丁寧に意見を伝えたりするなど比較的落ち着いてコミュニケーションをとることができている。しかし、人前で発表することや先頭に立ってリーダーシップをとる生徒が固定化されており、自分の失敗や間違いを恐れてしまう生徒もいるのが現状である。

本教材は北海道の畜産業の父、エドウィン・ダンの生涯を描いたものである。遠い異国の地で様々な困難を乗り越えながら、日高地方の馬産業の基礎を築いた功績についてふれることで、中学三年生において苦手なことに向き合い、自分の目標に向かって努力しようとする気持ちを醸成するきっかけの一つにしていきたい。

4 本時のねらい

多くの困難を乗り越えて北海道の畜産業を切り拓いた先駆者であるエドウィン・ダンの生涯を追想し多面的・多角的な視点で意見を交流することで、失敗や挫折を恐れずに自分の目標に向かって努力し、挑戦しようとする態度を形成する素地となる道徳的心情を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 話合いの時間を確保するために教材は朝の読書の時間で読む。
- ② 困難に直面したときにどう乗り越えるかダンと自分自身を対比させて考える。
- ③ なるべくたくさんの人と交流し、自分自身の心の持ち方について考える。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	<p>1 「困難を乗り越えること」に関する意識調査</p> <p>事前アンケートを全体で振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで苦手なことや面倒くさいことを避けてしまったことがありますか。 ・困難を乗り越えることは大切だと思いますか。 ・あなたはどんな困難があっても絶対乗り越えられますか。 <p>アンケート結果からテーマを提示する。 ⇒困難を乗り越えるために大切なことは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にロイロノートでアンケートを取る。 ・今までの経験を想起させる。 ・避けてしまう＝人間として当然の感情（人間理解） ・アンケート結果を踏まえてテーマにつなげる。
展開	<p>2 教材「北海道の畜産業の父」をもとに、ダンの生き方について考える。</p> <p>○災害やバツタ、オオカミの被害に遭ったとき、ダンはどうな気持ちになっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心が折れてしまう。 ・諦めたくなる。 <p>○ダンが困難に直面していても、くじけずにやろうと思えたのはなぜだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任感が強い人だったから。 ・農業や馬が大好きだったから。 <p>※ダンは困難を乗り越えたときどんな気持ちだっただろうか。</p> <p>3 自分の今後の生き方について考える。</p> <p>○今の自分の困難を乗り越える気持ちの強さはどの程度だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割と強い方だと思う。 ・避けてしまうことが多いから弱い。 <p>◎あなた自身が困難を乗り越えるためには、どんな気持ちがあれば頑張ることができるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなときも諦めない気持ち。 ・自分を高めようと思う向上心。 ・色々な誘惑に勝つための強い気持ち。 <p>※あなたにとってそういう気持ちにさせてくれるものはなんだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ホワイトボードなど意見を共有できるツールを活用できたら良い。 ・ロイロノートで考えを共有する。子どもたちの間で気になる考えがあれば出させる。 ・ダンが抱えていた人間の弱さとそれを乗り越えていった強さをイメージする。（他者理解） ・ダンの生き方と対比させて自分の生き方を考える。（価値理解、人間理解） ・共有ノート内で意見を共有する（シンキングツール）と共に、意図的指名を行い全体で意見を交流する。 ・時間があれば自由に立ち歩いて交流させる。 ・生徒の考えを聞く前に教師の説話を挟む場合も考えられる。

		<p>■他者の考えを聞いて、困難に立ち向かうことを多面的多角的にとらえることができている。</p>
終末	<p>4 教師の説話</p> <p>○授業の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手なことにも少しだけ挑戦してみようと思った。 ・できるかどうかはまだわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の中学時代の経験を交えて話す。 ・振り返りの視点を伝える。(授業の前後で考えが変わったか、新たな気づきがあったか。)